



エスプレッソ式コーヒーメーカー

# Z10

## 取扱説明書



安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称と付属品	6
ホーム画面／メニューについて	9
工場出荷時のメニュー表示	9
ロータリースイッチメニュー画面	9
はじめてお使いになるときは	10
抽出前の準備	14
給水タンクに水を入れる	14
コーヒー豆を入れる	14
ミルクチューブを接続する	16
アクセサリ機器を接続する	16
コーヒーを抽出する	17
お湯を注ぐ	20
使用中は	21
給水する	21
コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる	21
[リンス] をする	22
電源をオフにする	22
使用後のお手入れ	23
ミルク経路のお手入れ	23
フォームフローサーの分解洗浄	25
定期的なメンテナンス	26
給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄	26
マシン洗浄をする	27
フィルターを交換する	29
設定	30
メンテナンス設定画面	30
マシン設定画面	30
メニューの詳細設定	31
アラーム表示	34
こんなときは	35
消耗品	37
ご購入が可能な消耗品	37
お客様自身で交換ができない消耗品	37
水抜きの方法	38
保管方法	38
廃棄について	38
アフターサービスについて	38
仕様	39

- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

# 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 〈表示の説明〉



### 警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



## 警告

### ■ 電源コード・電源プラグについて



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

- コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



アースを接続する。

アースを接続せずに万一漏電が起こった場合は、感電や火災の恐れがあります。

- アース工事が必要な場合は、販売店・電気工事店にご相談ください

## 警告

### ■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに水漏れ、感電、火災などの原因となります。



プラグを抜く

この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、感電や火災などの原因となります。

● 販売店もしくは弊社コールセンターにご連絡ください。

異常が発生した場合には、速やかに電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

● 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線、配管などに触れない。

やけどや感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。

本体に水がかかってしまった場合は、電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターにご連絡ください。



子どもが使用するときは、近くで監督する。また、幼児の手の届くところで使用しない。

## 注意

### ■ 電源コード・電源プラグについて



使用中は電源コードが本体に触れないようにする。

感電・ショートの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

# 安全上のご注意 (続き)



注意

## ■ 設置について



本体は水平で安定し、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置する。  
また、熱に弱い敷物の上で使用しない。  
不安定な場所に設置すると、落下や転倒などによりけがの原因となります。



壁や家具の近くでは使用しない。  
蒸気や熱により変形、変色する恐れがあります。



天然木や天然石の上に置く場合、水や洗浄液の飛沫がついても影響がない材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護をおこなう。

使用の際に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。

## ■ 使用中について



抽出する前に、抽出ヘッドの位置に注意してカップを置く。また、高さの低いカップの場合は、抽出ヘッドの高さを低くする。  
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。

排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。  
水がこぼれて、床や机を汚す原因になります。



抽出中は、抽出口に顔や手を近づけない。  
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。



接触禁止

抽出中や抽出直後は、抽出口など高温部に触れない。  
やけどの原因となります。

作動中にホッパーの中に手を入れない。  
けがの原因になります。

## ■ 製品の取り扱いについて



製品を移動する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどがなく、十分に冷めていることを確認してからおこなう。  
やけどや感電の原因となります。

長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切る。

本体内部に豆が残っていると、次に使用するとき古い豆で抽出をおこなってしまいます。



本体を落下させたり倒したりしない。  
けがや故障の原因となります。

本来の目的以外には使用しない。  
事故の原因になります。

## ■ お手入れについて



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう。  
やけどの原因になります。



本体は水洗いしない。  
感電の原因になります。



フィルターの交換やクリーニングは規定どおりに実施する。

規定通りにおこなわないと、カビや細菌が繁殖する原因になります。

# 使用上のご注意

## ■ 設置場所について

- 周辺温度が 10 ～ 35℃の水平な場所に設置してください。  
(上記範囲外だと故障の原因)
- 直射日光が常に当たる場所、埃やちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置しないでください。  
(故障の原因)
- 本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。  
(熱がこもると故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。  
(熱によって変形し、故障の原因)

## ■ 使用時

- 給水タンクに水道水以外のものやお湯・純水・ミネラルウォーターを入れないでください。  
(故障の原因)
- ホッパー (6 ページ参照) にコーヒー豆以外のものや挽いたコーヒー粉を入れないでください。
- 野外では使用しないでください。  
(故障の原因)
- 給水タンクに水を入れていない状態で使用しないでください。  
(故障の原因)
- 最大容量 (給水タンクの MAX ライン) を超えた水を入れて使用しないでください。  
(故障の原因)
- 給水タンクを本体に取り付けたまま水を補充しないでください。  
(故障や感電の原因)

## ■ 使用後

- 電源プラグをコンセントから取り外すときは、本体の電源をオフにし、本体の動作が止まってからおこなってください。  
(故障の原因)

## ■ お手入れ時

- 本体のプラスチック部分の清掃にアルコール類を使用しないでください。  
(破損の原因)
- 本体の上面は傷が付きやすいため、メガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。  
(破損や変形の原因)

使用後のお手入れ方法は、23 ページを参照してください。

# 各部の名称と付属品

はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。

梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、捨てずに保管しておいてください。

## お願い

初めてご使用になるときは、タッチパネルに貼ってある保護シールをはがしてください。

## ■ マシン本体



### ホッパー

コーヒー豆を入れます。  
※ホッパーの下（外からは見えません）にはコーヒー豆を挽くグラインダー（コーヒー豆を粉状にするための部品）があります。

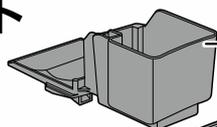
### ロータリースイッチ

回すと、画面のスクロールや設定の数値変更ができます。  
中央部を押すと、設定画面に移動します。

### タッチパネル (9 ページ参照)

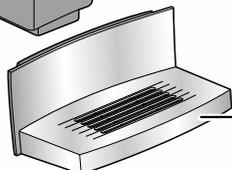
### 給水タンク

## トレイユニット

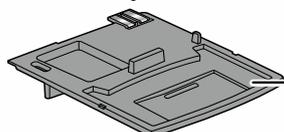


### かす受け容器

使用済みのコーヒーかすが排出されます。



### カップ受け

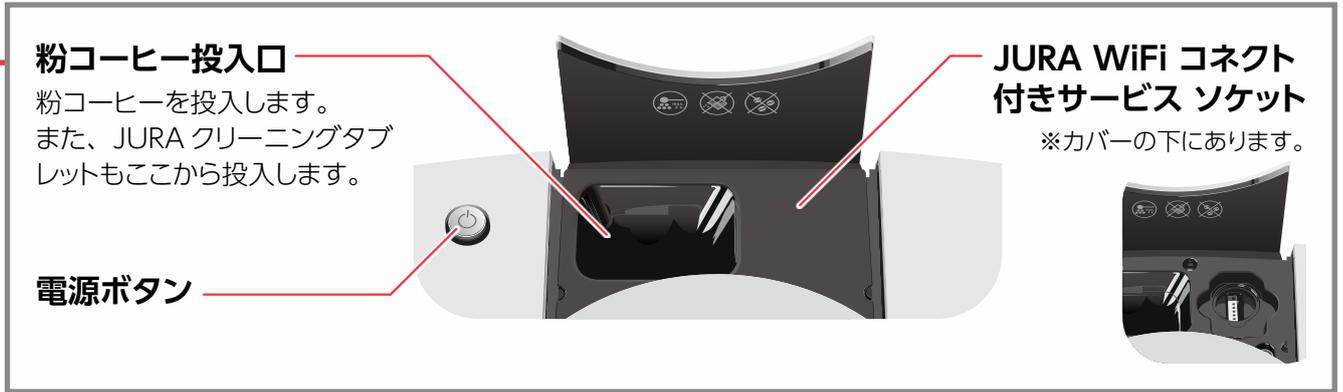


### 引き出し トレイ



### 排水トレイ

- 排水トレイの下側を持ち、引いて取り外します。
- トレイユニットを引き出すときは、抽出ヘッドを上げてください。
- トレイユニットは強い力がかかるとヒビが入る可能性があります。本製品を持ち運ぶ際はトレイには手をかけず本体を持つようにしてください。



**ポイント**

**オフまでの時間設定**  
電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にす  
すぎがおこなわれ、電源がオフになります。  
オフになるまでの時間は設定することができます。  
(30 ページ参照)

**電源接続について**

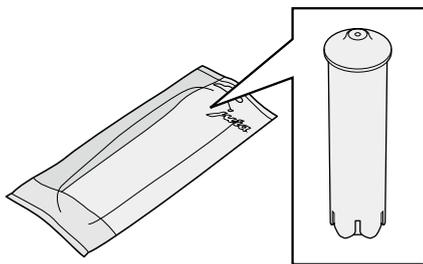
定格 15A(100V)  
単独で使用

アース端子  
アース線

コンセントが 2 穴の場合  
は、付属の 2 芯変  
換プラグを取り付け、  
アース線をアース端子  
に接続してください。

# 各部の名称と付属品 (続き)

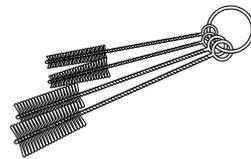
## ■ 付属品



フィルター × 1<sup>※1</sup>  
(クラリススマートプラスフィルター)



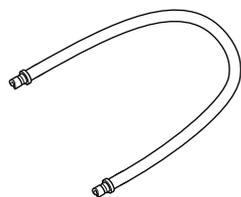
フィルターケース × 1  
フィルターを入れて水タンクに取り付けます。



ブラシセット × 1  
フォームフローサーを洗うときに使用します。



ミルククリーニング容器 × 1  
ミルククリーニングをするときに使用します。



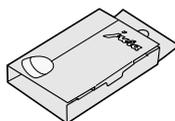
ミルクチューブ × 1<sup>※1</sup>  
ミルクメニューを使用するときに使用します。



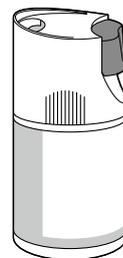
フローサー抽出口先端 × 1<sup>※1</sup>  
本体にあらかじめ取り付けられているフローサー抽出口先端のスペアです。



テスター × 1  
水の硬度を測ります。



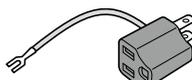
JURA クリーニングタブレット × 1<sup>※1</sup>  
(2錠入り)<sup>※2</sup>



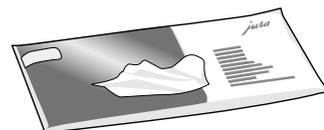
ミルクシステムクリーナー × 1<sup>※1</sup>  
ミルククリーニングをするときに使用します。



コーヒースプーン × 1  
粉コーヒーやコーヒー豆を投入するときに使用します。



2芯変換プラグ × 1



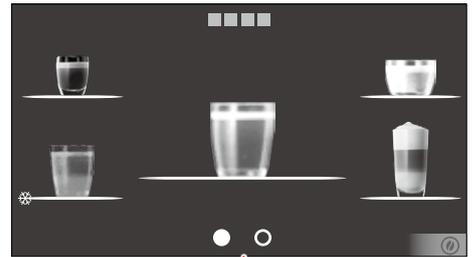
マイクロファイバークロス × 1  
本体表面を拭くときに使用します。

※1 消耗品 (37 ページ参照)    ※2 サンプル品

# ホーム画面／メニューについて

画面はタッチパネルまたはロータリースイッチで操作することができます。

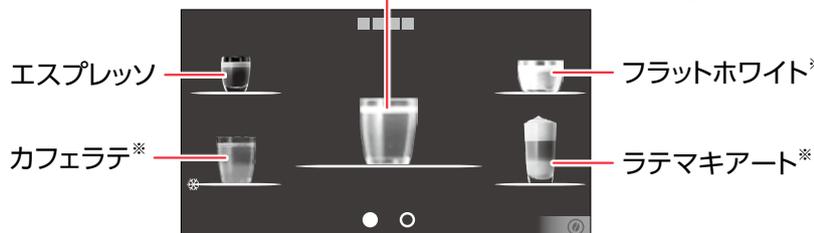
- 電源をオフにしたときに表示されていたページが、次回電源を入れたとき最初に表示されます。
- 使用していくと、1 ページ目にはよく使うメニューが表示されるようになります。(「スマートモード」機能がオンの場合のみ\*)  
 ※ 工場出荷時は「スマートモード」機能はオンになっています。メニューの配置を固定したいときは、この設定をオフにしてください。(→ 30 ページ参照)
- 工場出荷時の設定では、ホーム画面にメニュー名は表示されません。メニューアイコンの下にメニュー名を表示させる場合は、「マシン設定」の「メニュー名」をオンに設定してください。(→ 30 ページ参照)



○をタッチするとページを切り替えることができます。  
 1 ページ目と 2 ページ目のメニュー配置はプログラムで変更可能です。

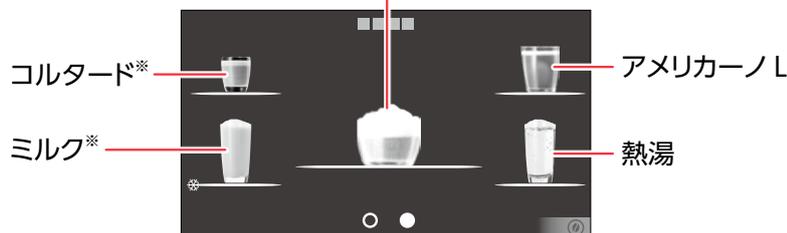
## 工場出荷時のメニュー表示

### ■ 1 ページ目



以下のメニューは、工場出荷時のホーム画面には表示されていません。表示させる場合は、メニューの詳細設定画面でメニューの位置を変更してください。(31 ページ参照)

### ■ 2 ページ目



- 工場出荷時は「カフェラテ」が冷たい状態で抽出される設定になっています。温かい状態で抽出する場合は「抽出設定」(19 ページ) で設定を変更する必要があります。
- ※ ミルクを使用するメニューですので、ミルクチューブを接続する必要があります。

## ロータリースイッチメニュー画面

ホーム画面が表示されている状態でロータリースイッチを回すと、ロータリースイッチメニュー画面が表示されます。

- 表示されているメニューを実行するときは、アイコンをタッチするか、ロータリースイッチを押します。
- 設定画面を表示させるときは、いったん「戻る」をタッチしてホーム画面に戻ってから、ロータリースイッチを押してください。



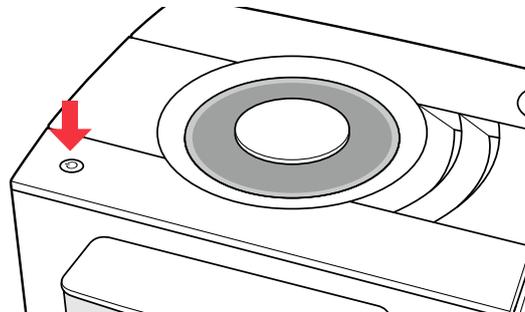
# はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、画面の案内にしたがって初期設定をおこないます。

※ 本製品は工場で実際にコーヒー豆を使って抽出テストをおこない、出荷しています。そのため、初めてお使いになる場合でもコーヒー粉が残っている場合があります。

## 1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

必ずアース接続してください。  
アースコンセントがない場合は、現在ご使用中の電化製品（エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど）のアースコンセントに共用接続してください。また、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。



## 2 電源ボタンを押します。

## 3 起動画面が表示された後、[Choose language] 画面が表示されるので、**[日本語]** を選択します。

- ① 画面をタッチまたはロータリースイッチを操作してページを送り、日本語のページを表示させます。
- ② [保存] をタッチして選択します。



## 4 [水の硬度] 画面が表示されるので、**硬度を設定します。**

左右の<>部分をタッチまたはロータリースイッチを操作して硬度を設定し [保存] をタッチして選択します。

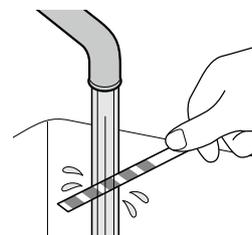
硬度は付属のテスターを使って確認してください。



### <硬度の確認方法>

- ① 付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約1秒間さらします。
- ② 水気を切り、その後1分間放置します。
- ③ テスターの色が赤色に変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。

テスター	赤色の数	硬度設定値
	0	1dH
	1	6dH
	2	11dH
	3	16dH
	4	21dH
	5	26dH



# 5

[フィルターを付ける] と表示されるので、

## 給水タンクにフィルターを取り付けます。

フィルターは必ずクラリススマートプラスフィルターを使用してください。

- クラリススマートプラスフィルター（以降、クラリスフィルター）は水道水に含まれる鉛、銅、アルミニウム、塩素などのおいしいコーヒーには好ましくない物質を除去し、最適な水にろ過します。
- クラリスフィルターはコーヒーマシンの加熱ブロックに堆積して風味と機能を損なう原因となる石灰分を75%除去します。そのため、カルシウム（CA）除去の頻度を大幅に削減することができます。クラリスフィルターを使用しなければ、半月に一度のカルシウム（CA）除去が必要になり、さらには、コーヒーマシンの寿命を短くしてしまうこととなります。クラリスフィルターを使わずにコーヒーマシンをご利用されたり浄化能力が落ちてしまった状態（設定画面に「フィルター交換」と表示されている）で使い続けたりすることはお勧めいたしません。

- ① 抽出口の下に容器（200ml以上のもの）を置きます。



- ② フィルターケースのふたを取り外します。

フィルターケース上部のツメ2か所を押しながら、ふたを引き上げてください。

ツメ

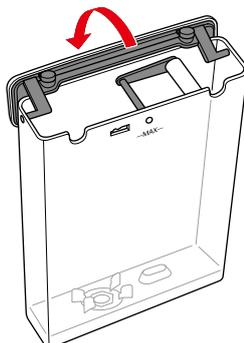


- ③ フィルターケースにフィルターを入れて、ふたを元通りに取り付けます。

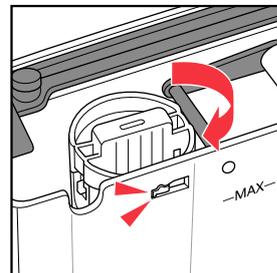
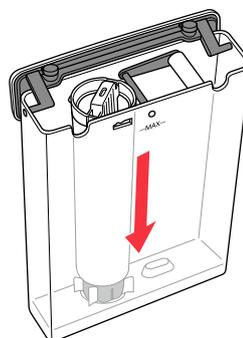


- ④ 給水タンクを取り外し、ふたを開けます。

給水タンクは水で軽く洗ってください。  
（お湯は使用しないでください）



- ⑤ 給水タンク底のみぞに合わせてフィルターケースを取り付け、時計回りに回して固定します。

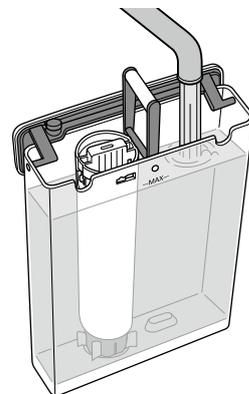


- ⑥ MAXライン（約2.4L）まで水を入れます。

**お願い**

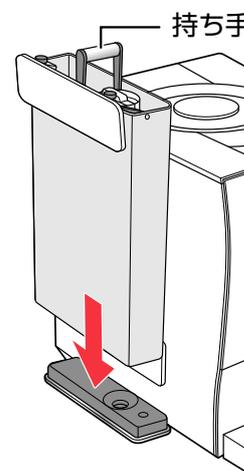
MAXライン以上の水を入れて使用しないでください。

—MAX—



- ⑦ 給水タンクを本体にセットします。

- ⑧ 給水タンクの持ち手を倒し、ふたを閉めます。



- ⑨ [ロータリースイッチを押して下さい] と表示されたら、ロータリースイッチを押します。

# はじめてお使いになるときは (続き)

フィルターすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
フィルターすすぎ中は抽出口と給湯口からお湯が出ます。

※すすぎ中は通常より大きな音がする場合があります。



**注意**

フィルターすすぎ中は、抽出口と給湯口からお湯が出るので、やけどに注意する。

[フィルターのすすぎ完了]と表示された後、  
[システム内に水を供給中]と表示されますので、さらに少し待ちます。

**6**

「排水トレイを空にしてください」と「カス容器を空にしてください」が交互に表示され始めたら、排水トレイにたまった水を捨て、すすいだ後、排水トレイを本体に戻します。



**注意**

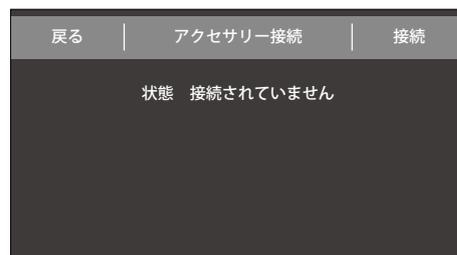
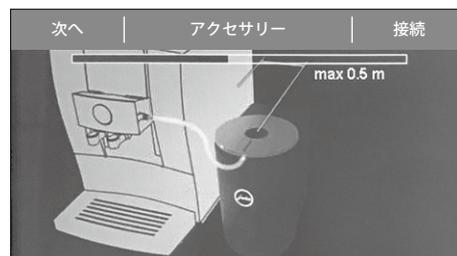
コーヒーすすぎ中は、抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

コーヒーすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
コーヒーすすぎ中は抽出口からお湯が出ます。

# 7

[アクセサリ接続] 画面が表示されるので、アクセサリを設置する場合は  
画面の指示に従って、アクセサリを設定します。

- ① Cool Control などのアクセサリ機器を設置して、電源を入れ、接続可能な状態にします。  
本製品との距離が 0.5m 以下になるように設置してください。  
※ アクセサリ機器を接続するときはアクセサリ機器用の Wi-Fi コネクトが必要です。接続方法は Wi-Fi コネクト付属の取扱説明書をご参照ください。
- ② [接続] をタッチして選択します。
- ③ 画面に「状態 接続されていません」と表示されたら、再度 [接続] をタッチします。



「保存しました」と表示されたら接続は完了です。

- 接続に失敗すると「接続されていません」と表示されます。本製品とアクセサリとの距離を変えて、再度お試しください。
- 何度も接続に失敗するときは、アクセサリ本体のリセットが必要な可能性があります。Cool Control の場合、電源が入っている状態で電源ボタンを3秒以上長押しして、工場出荷時の状態にリセットしてください。(リセット後は、再度キャリブレーションをする必要があります。Cool Control の取扱説明書を参照してください)



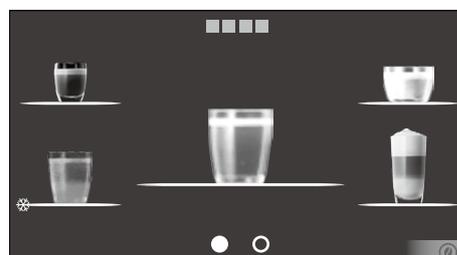
- [アクセサリ接続] の設定をスキップする場合は [次へ] をタッチします。

# 8

[Wi-Fi 接続] 画面が表示されるので、Wi-Fi に接続する場合は  
画面の指示に従って、Wi-Fiを設定します。

- 本製品の Wi-Fi への接続方法は、別紙の取扱説明書をご参照ください。
- [Wi-Fi 接続] の設定をスキップする場合は [次へ] をタッチします。

マシンすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
マシンすすぎ中は抽出口からお湯が出ます。



**注意**

マシンすすぎ中は、抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

ホーム画面が表示されたら、準備完了です。

# 抽出前の準備

## 給水タンクに水を入れる

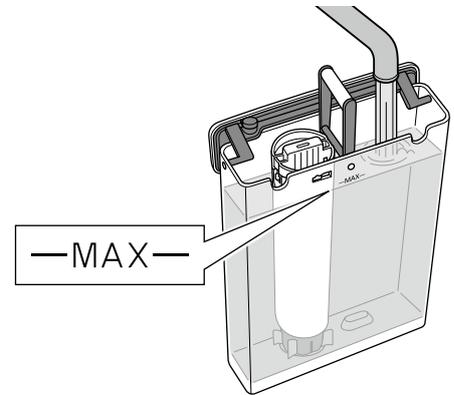
給水タンクに水を入れ、本体に取り付けます。

### 1 MAXライン(約2.4L)まで水を入れます。

※ 水道水を使用してください。

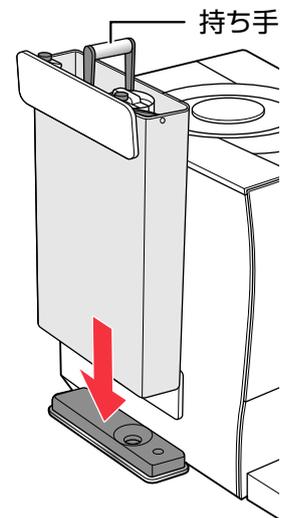
#### お願い

MAXライン以上の水を入れて使用しないでください。



### 2 給水タンクを本体にセットします。

### 3 給水タンクの持ち手を倒し、ふたを閉めます。



## コーヒー豆を入れる

#### お願い

故障の原因になりますので、以下を守ってください。

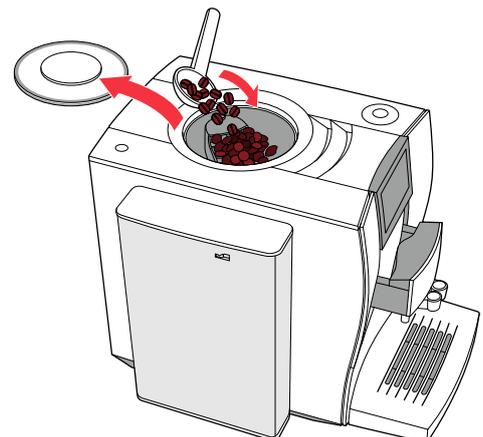
- コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆以外のものや挽いた豆を入れないでください。
- 冷凍庫や冷蔵庫に入れたコーヒー豆は結露をなくすため、室内にしばらく置き、室温に戻してからご使用ください。
- フレーバーコーヒーはお使いいただけません。

### 1 ホッパーふたを外します。

### 2 コーヒー豆をホッパーに入れます。

コーヒー豆は、入れすぎないようにご注意ください。  
ホッパーふたが閉まらなくなります。  
(空の状態で上限約 280g)

### 3 ホッパーふたを閉めます。



## 粉コーヒーを使うとき

- ミルク使用メニューを抽出する場合は、あらかじめミルクをセットしておく必要があります。(16 ページ参照)。

粉コーヒーを使うときは、「粉コーヒーモード」に切り替える必要があります。

- ① ホーム画面の  をタッチします。  
抽出設定メニューが表示されます。
- ②  をタッチして選択します。  
粉コーヒーを使用できるメニューの左側に粉コーヒーアイコンが表示されます。



- 通常モードに戻すときは、抽出設定メニューの  を再度選択します。
- ③ 粉コーヒーメニューをタッチして選択します。  
画面に「粉コーヒーを入れてください 粉コーヒー投入口を閉じます」と表示されます。
- ④ 粉コーヒー投入口のふたを開け、粉コーヒーを投入し、ふたを閉じます。
- ⑤ [次へ] をタッチして選択します。  
抽出が開始されます。

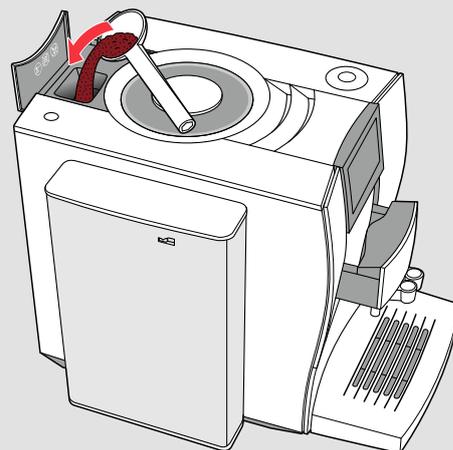
### 使用できる粉コーヒー

「中細挽き」または「中挽き」

#### 投入量

約 7.5g (付属コーヒースプーンすりきり 1 杯) ~ 最大 15g

※ 粉コーヒーが上記より少ない場合、抽出されずに、粉がかす受け容器に排出されます。必ず適量を投入してください。



- インスタントコーヒーはご使用になれません。
- 粉は、「中細挽き」または「中挽き」のものをご使用ください。  
挽き目が細かすぎると、コーヒーの出が悪くなる場合があります。
- 粉コーヒーが投入された状態でブラインダーを使用した通常の抽出をおこなうと、粉コーヒーがシリンダーから溢れ、排水トレイの後ろに大量にこぼれます。粉コーヒーを投入した場合は必ず粉コーヒーを使用してください。
- 粉コーヒー投入口が粉の付着等で汚れた場合は、カバーを取り外して清掃してください。  
(粉コーヒー投入口のカバーは、上に引っばると取り外すことができます)

### お願い

粉コーヒーは一度の抽出につきコーヒースプーンすりきり 2 杯より多く投入しないでください。  
故障の原因になります。

# 抽出前の準備 (続き)

## ミルクチューブを接続する

ミルクを使うメニューを使用する場合は、付属のミルクチューブを本体に接続します。

- 1 抽出口の横にあるミルクチューブ接続口キャップを取り外します。**  
※ ミルクチューブ接続口キャップは、なくさないように保管し、ミルクメニューを作らないときは、取り付けておいてください。
- 2 ミルクチューブ(付属)先端を  
ミルクチューブ接続口に差し込みます。**
- 3 もう片方のミルクチューブ先端を  
ミルクが入った容器に差し込みます。**



### ポイント

#### 使用する牛乳について

8℃以下の冷たい成分無調整牛乳（乳脂肪分 3.5% ~ 4.5%）を使用してください。

※ めるい牛乳や成分調整乳を使用すると、泡立ちが良くない場合があります。



## アクセサリ機器を接続する

本製品には JURA Wi-Fi コネクトが装備されています。これにより、対応する JURA のアクセサリ機器（Cool Control など）に本製品をワイヤレスで接続できます。

※ アクセサリ機器の接続にはアクセサリ用の Wi-Fi コネクトが必要です。

- 1 ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。**  
設定画面が表示されます。
- 2 マシン設定  をタッチして選択します。**
- 3 マシン設定画面で[アクセサリ接続]をロータリースイッチを回して選択し、  
押して決定します。**
- 4 画面の指示に従って、アクセサリ機器を本製品に接続します。**  
アクセサリ機器が Cool Control の場合は 13 ページを参照してください。

# コーヒーを抽出する

1

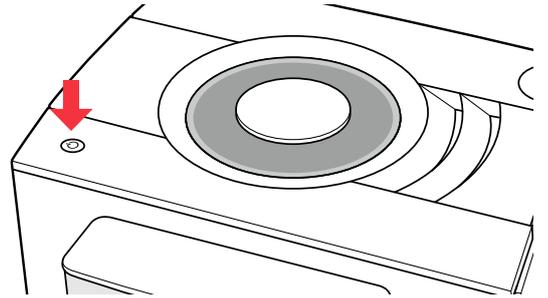
## 電源を入れます。

① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

② 本体の電源ボタンを押します。

自動的にヒーティング（マシン内部の加熱）とすすぎがおこなわれます。

ヒーティング・すすぎ中は、抽出口からお湯が出ます。  
コーヒーが抽出可能になるまで約1分かかります。



2

## カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。

背の低いカップの場合、抽出ヘッドの位置が高すぎると、コーヒーやミルクが飛び跳ねる恐れがありますので、適度な高さに調節してください。

コーヒーやミルクを使用する  
メニューの場合



熱湯・熱湯（お茶用）の場合



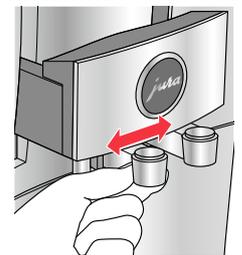
給湯口の真下にカップを置きます。

### ポイント

- コーヒーは左右の抽出口から同時に抽出されます。
- 左右で抽出量に差が出る場合があります。

### 注意

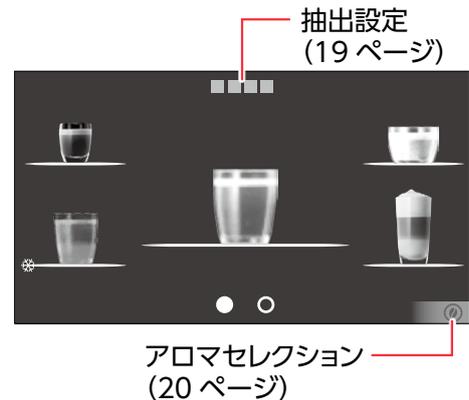
コーヒー・ミルク抽出口を左右に動かす際は下部の根元を持って動かす。  
破損（折れる）の原因になります。



# コーヒーを抽出する (続き)

- 3** ホーム画面が表示されたら、  
**ご希望のメニューをタッチして選択します。**  
**抽出が開始されます。**

※ 蒸らしのときに少量のコーヒーが抽出される場合があります。



## 抽出中は

- 抽出中に、コーヒーの量・濃さ、ミルク量の設定画面が表示されたら、画面をスワイプまたはロータリースイッチを操作することで調節できます。  
抽出完了時に「保存」をタッチして選択すると、ここで調節された量や濃さの設定が保存されます。「保存」をタッチしなかった場合、設定は保存されず、次回抽出時にはリセットされます。
- 抽出を途中で止めたいときは、「キャンセル」をタッチして選択します。

- コーヒーが抽出されないときは  
アラーム表示 (34 ページ) をご確認ください。
- 使い始めやしばらく使用していなかったときは  
内部にコーヒー粉が充填されていないと抽出が途中で止まる場合があります。  
その場合は再度抽出してください。



**注意**

抽出中は、やけどに注意する。

## ポイント

### オフまでの時間設定

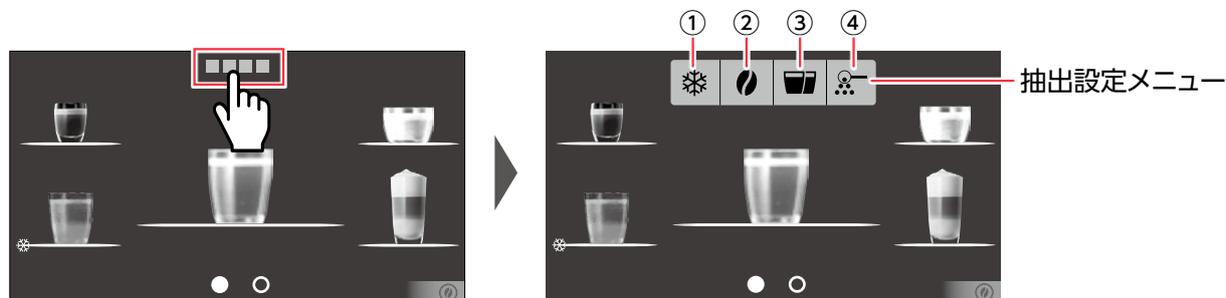
電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。  
オフになるまでの時間は設定することができます。(30 ページ参照)

## 抽出後は

- コーヒーを抽出した後は  
コーヒー抽出後、マシンすすぎをせずに電源ボタンを押すと、自動的にマシンすすぎがおこなわれてから電源がオフになります。  
コーヒー抽出後の電源オフ時は、抽出口の下に容器を置いてください。
  - ミルクメニューを使用した後は  
ミルクメニューを抽出すると、約 15 分後に自動でミルクシステムすすぎがおこなわれます。  
ミルクメニューの抽出完了後、抽出口の下に容器を置いてください。
- ※ マシンすすぎ・ミルクシステムすすぎは、手動でおこなうこともできます。(22 ページ参照)

## 抽出設定

■■■■ をタッチすると、抽出設定メニューが表示されます。



メニュー	説明	選択可能メニュー
① コールドブリュー	<p>冷たい状態で抽出します。 アイコンをタッチすると、選択可能なメニューの左側にコールドブリューアイコンが表示されます。 メニューを選択すると、抽出が開始されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エスプレッソ</li> <li>● コーヒー</li> <li>● ラテマキアート</li> <li>● カプチーノ</li> <li>● フラットホワイト</li> <li>● カフェラテ</li> <li>● コルタード</li> <li>● マキアート</li> </ul>
② エクストラショット	<p>半分の湯量で2回抽出をおこないます。 アイコンをタッチすると、選択可能なメニューにコーヒー豆のアイコンが表示されます。 メニューを選択すると、抽出が開始されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラテマキアート</li> <li>● カプチーノ</li> <li>● フラットホワイト</li> <li>● カフェラテ</li> </ul>
③ ダブル	<p>2 杯分抽出します。 アイコンをタッチすると、選択可能なメニューのカップのアイコンが 2 つになります。 メニューを選択すると、抽出が開始されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エスプレッソ</li> <li>● コーヒー</li> <li>● アメリカーノ</li> <li>● アメリカーノL</li> </ul>
④ 粉コーヒー	<p>粉コーヒーから抽出します。(15 ページ参照)</p>	

※ 抽出設定メニューの各アイコンを長押しすると、ピツと音がして、その設定が可能なすべてのメニューに設定が適用され、保存されます。

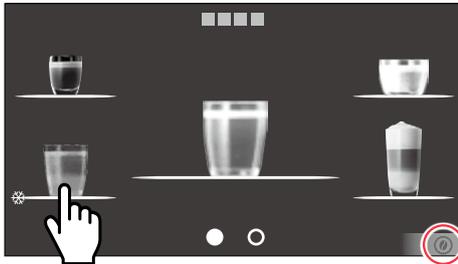
この手順で保存された設定は「メニューの詳細設定」(31 ページ参照) では解除できません。設定を解除する場合は、抽出設定メニューのアイコンを再度長押ししてください。

# コーヒーを抽出する (続き)

## アロマセクション

抽出直前にコーヒー豆の粒度やコーヒーの濃度を設定変更することができます。

※ 「粉コーヒーモード」の場合、アロマセクションは変更できません。



①  をタッチすると、設定可能なメニューの線が伸び縮みますので、設定するメニューをタッチして選択します。

② 画面をタッチして挽きの粗さと濃度を設定します。「スタート」をタッチすると抽出を開始します。

- ・ 約 5 秒以上操作がない場合、または再度  をタッチすると、通常のホーム画面に戻ります。
- ・ 「ミルク」「ミルクフォーム」「熱湯」「熱湯 (お茶用)」の設定は変更できません。
- ・ アロマセクションで変更できる設定は「挽き粗さ設定」「コーヒーの濃度」のみです。その他の設定については「メニューの詳細設定」(31 ページ)を参照してください。
- ・ 設定変更した場合は、抽出終了後、画面の右上に「保存」と表示されます。「保存」をタッチすると、設定した量や濃さが保存され、次回抽出時に反映されます。「保存」をタッチしなかった場合は、設定はリセットされます。

# お湯を注ぐ

**1** 給湯口の下にカップを置きます。

**2** 熱湯メニューをタッチして選択します。

給湯口からお湯が出ます。(初期設定 220ml)

● くり返し抽出するときは、コーヒー等も含め、1 時間に 5 杯以内にしてください。

抽出杯数が多いと、故障の原因となります。



## 注意

- お湯を注いでいるときは、やけどに注意する。
- お湯は抽出口ではなく、向かって左側の給湯口から出るので、注意する。

# 使用中は

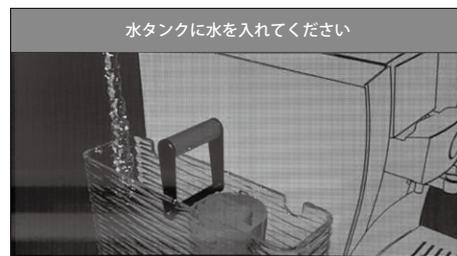
## 給水する

画面に「水タンクに水を入れてください」と表示されたら、給水します。

給水は、水タンクを本体から取り外した状態でおこなってください。目安として、給水タンクに MAX ラインまで水を入れた状態で、コーヒーを約 20 杯分<sup>\*</sup>抽出できます。

給水タンクを本体に戻すと、画面は元に戻ります。

※ 初期設定 100ml の場合

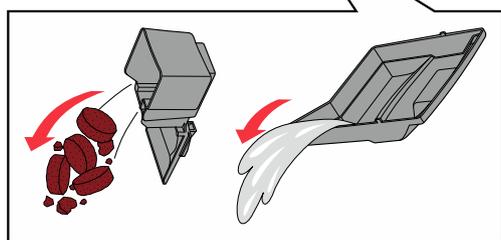


## コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる

画面にメッセージが表示されたら、トレイユニットを引き出し、コーヒーかすや排水を捨ててください。

引き出しトレイの金属部はきれいに拭いてからマシンに戻します。

(35 ページ参照)



### お願い

製品が動作しているときは、トレイユニットを引き出さないでください。(35 ページ参照)

トレイユニットがセットできなくなるおそれがあります。

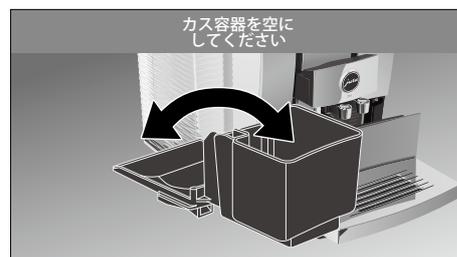
(故障の原因)

### お願い

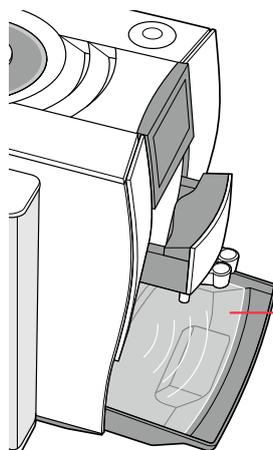
コーヒーかすを捨てる時の注意 (かす受け容器のカウンターリセット方法)

- 電源を入れた状態でおこなう
- トレイユニットは、本体から取り出してからセットするまで 10 秒以上時間をおく

トレイユニットを引き出すときに電源をオフにしていたり、トレイユニットを引き出してからセットする時間が 10 秒より短いと、カウンターがリセットされず、コーヒーかすがたまっていても「カス容器を空にしてください」と表示されることがあります。



## ⚠ 注意



排水トレイに水を貯めすぎない。なるべくこまめに捨ててください。コーヒーを抽出した後、コーヒーかすの水分を取るため毎回少量の水がトレイに排出されます。

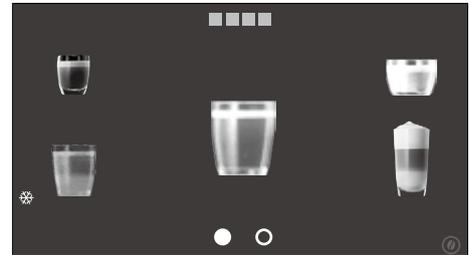
目安として、水位が排出トレイ内側のふちに達する前に捨てるようにしてください。

# 使用中は (続き)

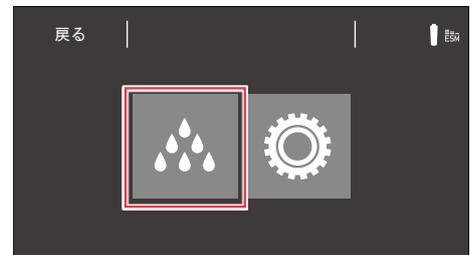
## [リンス] をする

汚れが気になる場合は、抽出口をすすぐことができます。

**1** ホーム画面が表示された状態で  
ロータリースイッチを押します。



**2** 設定画面で、 メンテナンス設定を  
タッチして選択します。



**3** メンテナンス設定画面で  
[リンス]をタッチして選択します。



マシンとミルクシステムのリンスがおこなわれますので、少し待ちます。  
リンス中は各抽出口からお湯が出ます。

設定画面が表示されたら、リンスは完了です。



**注意**

リンス中は、各抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

## 電源をオフにする

電源ボタンを押します。

メンテナンスをおこなう必要がある場合、電源ボタンを押してもすぐに電源オフにはなりません。必要なメンテナンスのアイコンが表示された設定画面に移動します。表示されるアイコンは以下の通りです。

・[ミルクシステムクリーニング] ・[マシン洗浄] ・[フィルター交換] ・[CA 除去]

- メンテナンスをせずに電源をオフにする場合は、再度電源ボタンを押すか、[電源を切る] をタッチしてください。
- 必要なメンテナンスをおこなうと、通常の設定画面に戻ります。

# 使用後のお手入れ

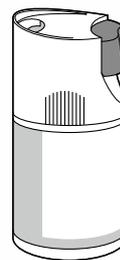
使用後は毎回、ミルク経路のお手入れとフォームフローサーの分解清掃（ミルクメニュー使用時のみ）、および給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄をおこないます。

## 1日の終わりに ミルク経路のお手入れ

- 所要時間はおよそ4分間です。
- ミルクメニューを使用したときは、ミルクチューブからミルク抽出口までが汚れます。  
そのため、ミルクチューブやミルクシステムの内側に残った油脂をきれいに洗い流す必要があります。
- マシンのトラブル発生（抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪いなど）を減少させる対策の1つとして、毎回のマシン清掃が不可欠です。  
清掃することで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したミルクフォームを抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

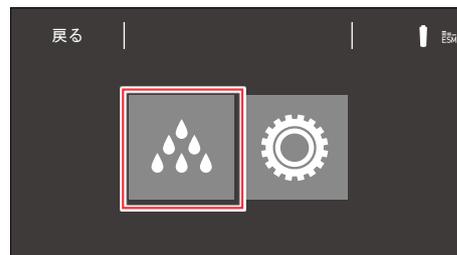
### お願い

洗浄には必ず専用のミルクシステムクリーナーをご使用ください。



**1** ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。

**2** 設定画面で、 メンテナンス設定をタッチして選択します。



ミルクメニュー使用後は、設定画面に「 ミルクシステムクリーニング」と表示されます。タッチすると、直接「 ミルククリーニング」画面に移動します。  
※ ミルク経路のお手入れが完了すると、通常の設定画面に戻ります。



**3** メンテナンス設定画面から「 ミルクシステムクリーニング」をタッチして選択します。



**4** 「次へ」をタッチして選択します。

## 使用後のお手入れ (続き)

- 5** 「ミルク用洗剤」と「ミルクチューブを接続してください」が交互に表示され始めたら、**ミルククリーニング容器の外側に、ミルクシステムクリーナーを入れます。**

ミルクシステムクリーナーの容器の黒い部分を1回押すと、お手入れ1回に必要な量のタブレットが出ます。



- 6** ミルクチューブ(付属)先端を  
ミルクチューブ接続口に差し込みます。

- 7** ミルククリーニング容器の吸い込み口に  
もう片方のミルクチューブ先端を差し込みます。

- 8** ミルク抽出口の下にミルククリーニング容器を  
置きます。



- 9** 「スタート」をタッチしてクリーニングを開始します。

### ⚠ 注意

クリーニング中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

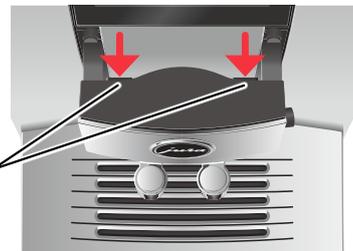
クリーニングがおこなわれますので、少し待ちます。  
クリーニング中は抽出口からお湯が出ます。

ホーム画面が表示されたら、ミルク経路のお手入れは完了です。

## ミルクが泡立たなくなったら フォームフローサーの分解洗浄

ミルクの泡立ち不十分や飛び散りはフォームフローサーの汚れが原因の可能性があります。  
このような状態が見られたらフォームフローサーを分解洗浄してください。

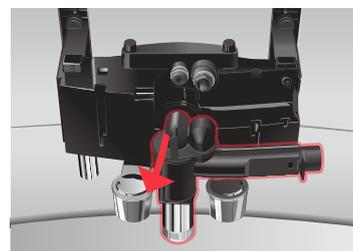
**1** ミルクチューブ接続口からミルクチューブを外します。



**2** 抽出ヘッドのカバーを外します。

カバー上部の裏側のリリースボタンを押して、  
カバーを持ち上げて外してください。

リリースボタン



**3** フォームフローサーを取り外します。



**注意**

ミルクメニュー使用直後は、フォームフローサーが熱くなっている場合がありますので、十分に冷めてから取り外す。

**4** フォームフローサーを4つに分解し、それぞれの部品を付属のブラシセットでブラッシングしながら流水ですすぎます。

**ポイント**

**汚れがひどい場合**

ミルクシステムクリーナーを使用してクリーニングします。

① ミルククリーニング容器に、水かぬるま湯 250ml とミルクシステムクリーナーを入れて、完全に溶かします。

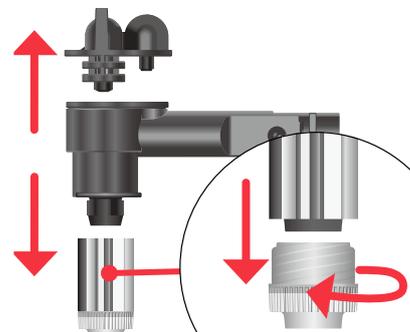
ミルクシステムクリーナー容器の黒い部分を 1 回押すと、お手入れ 1 回に必要な量のタブレットが出ます。  
(完全に溶けるまで、水の場合は約 10 分、ぬるま湯の場合は約 5 分かかります)

② 分解したフォームフローサーを①の溶液に約 10 分間つけ置きします。

③ ブラッシングしながら流水ですすぎます。

※ 汚れが落ちにくい場合はミルクシステムクリーナーの溶液につけ置きする時間を延ばしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、新しいものと交換することをおすすめします。



フローサー抽出口先端は、汚れがひどい場合や摩耗しているときは交換をおすすめします。

**5** 柔らかい布で各部品の水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フォームフローサーを組み立てます。

**お願い**

フォームフローサーを清掃するときは、組み立て、取り付けを確実にこなってください。

● 柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、組み立ててください。

● 正しく取り付けられていないと、ミルクの出が悪くなります。

**6** フォームフローサー、抽出カバー、抽出ノズルを本体に取り付け直します。

# 定期的なメンテナンス

## 1日の終わりに 給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄

### ⚠ 注意

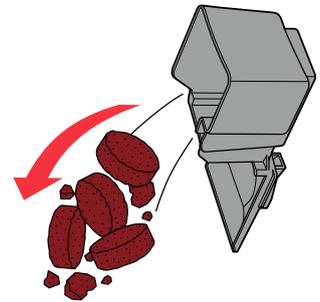
- 本体は水洗いしない。  
感電の原因になります。
- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう。  
やけどの原因になります。

### お願い

- 乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- マシンの表面は傷が付きやすいためメガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- 本体のプラスチック部分清掃にアルコール類を使用しないでください。

### 1 電源をオフにする前に、トレイユニットを引き出し、かす受け容器に入っているコーヒーかすを捨てます。

トレイユニットは引き出してから、セットするまで 10 秒以上時間をおいてください。



### 2 かす受け容器を戻し、トレイユニットを本体に戻します。

### 3 電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ マシン洗浄 (27 ページ) 後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源がオフになります。マシン洗浄後に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源がオフになります。

### 4 トレイユニットと給水タンクを取り外し、洗います。また、本体内部を清掃します。

#### 給水タンク

給水タンク内の水を捨て、フィルターを外した後、中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フィルターを給水タンクにセットして本体に戻します。

#### 本体内部

トレイユニットを引き出した状態で、本体内部のコーヒーやコーヒーかす汚れを、かたくしぼった布巾や柔らかいブラシ・刷毛で取り除いてください。※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

#### かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受け

トレイユニットを引き出し、排水トレイにたまっている水を捨てたあと、かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受けを中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、かす受け容器をトレイユニットに戻し、本体にトレイユニットを戻します。

※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

### ⚠ 注意

コーヒーかすや排水トレイの水は熱い場合があるので、注意する。  
やけどの原因になります。

### お願い

トレイユニットは動作音がしなくなってから取り外してください。  
トレイユニットがセットできなくなるなどの不具合が起きる可能性があります。  
(セットできなくなった場合は 35 ページの「こんなときは」を参照してください)

## 設定画面に [マシン洗浄] と表示されたら

## マシン洗浄をする

設定画面に [マシン洗浄] と表示され、ホーム画面にメンテナンス設定  アイコンが表示されたら、以下の手順でマシン洗浄をおこなってください。

(所要時間：約 20 分)

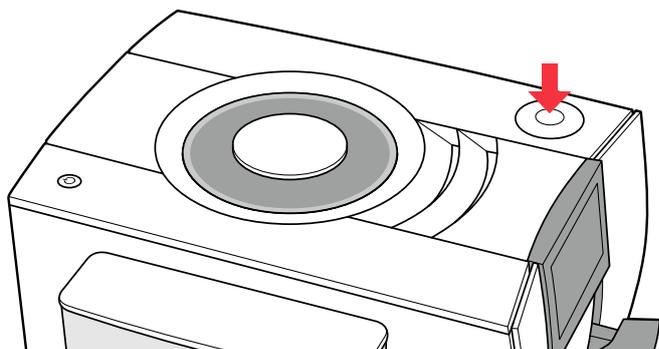
- 目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回おこなわれると、設定画面に [マシン洗浄] と表示されます。
  - マシン洗浄をするとカウンターはリセットされます。
- ※ 1 週間程度使用しない場合は、マシン洗浄をしてください。

### ポイント

設定画面に [マシン洗浄] と表示される前にクリーニングする場合

- ① 設定画面から  メンテナンス設定をタッチして選択します。
- ② メンテナンス設定画面から [マシン洗浄] をタッチして選択します。
- ③ **2** 以降の手順をおこないます。

- 1** ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。



- 2** 設定画面で、[マシン洗浄] をタッチして選択します。



- 3** 画面の案内に従って、[スタート] をタッチします。

- 4** 「排水トレイを空にしてください」と「カス容器を空にしてください」が交互に表示され始めたら、トレイユニットを引き出し、かす受け容器を空にして、本体に戻します。

- 5** 給水タンクに水を入れ、容量が300ml以上の容器を排水口と給湯口の真下に置きます。



# 定期的なメンテナンス (続き)

- 6** 「ロータリースイッチを押して下さい」と表示されたら、  
ロータリースイッチを押します。

## ⚠ 注意

マシン洗浄中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

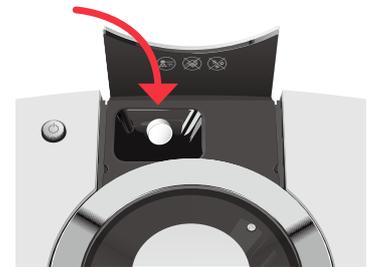
マシンの洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。  
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

- 7** 「洗浄剤を入れてください」と表示されたら、  
本体の粉コーヒー投入口からJURAクリーニング  
タブレット1錠を投入し、[次へ]を選択します。

※投入のタイミングが異なると、マシンクリーナーはかす受け  
容器に落下します。

JURA クリーニングタブレットは弊社指定のものをお使いください。

タイプ
JURA クリーニングタブレット (6 錠入り)

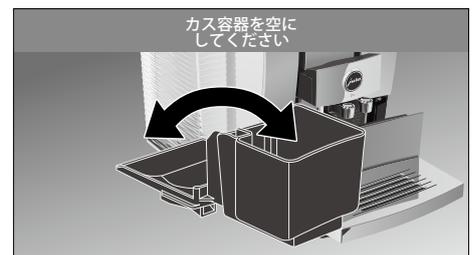


マシンの洗浄がおこなわれますので、約 10 分ほど待ちます。  
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

- 8** 「排水トレイを空にしてください」と「カス容器を空にしてください」が交互に表示され始めたら、  
トレイユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレイを空にします。

※排水トレイおよびかす受け容器には排水が溜まります。

[クリーニングが終了しました]と表示されたら、  
マシンの洗浄は完了です。



## 設定画面に [フィルター交換] と表示されたら フィルターを交換する

フィルター交換時期になると、ホーム画面の左下にメンテナンス設定  アイコンが表示され、設定画面に [フィルター交換] と表示されます。また、フィルターマークが赤く点灯します。

以下の手順でフィルターの交換をおこなってください。

フィルターは必ず「クラリススマートプラスフィルター」をお使いください。

※ フィルターを交換せずにマシンを使用し続けた場合は、設定画面に [CA 除去] と表示されます。

(34 ページ参照)

### お願い

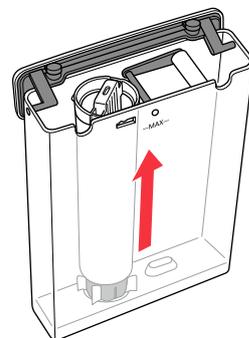
浄水能力の低下が始まりますので、フィルターを取り付けて 2 ヶ月が経過したら、フィルターマークが赤く点灯してなくても、以下の手順でフィルターを交換してください。

## 1 フィルターケースを取り外します。

- ① 給水タンクを外し、タンク内の水を捨てます。
- ② フィルターケースを反時計回りに回してから、持ち上げて外します。

タイプ

クラリススマートプラスフィルター



## 2 フィルターケース内のフィルターを交換します。

## 3 フィルターケースを再度取り付けます。

フィルターケース取り付けの詳しい手順は 11 ページ「はじめてお使いになるときは 5」の手順を参照してください。

- ① フィルターケースを給水タンクに取り付けます。
- ② 給水タンクに水を入れ、マシンにセットします。  
フィルターケースを取り付けると、マシンが自動的にフィルターを検出します。
- ③ 画面の案内にしたがってフィルターすぎをおこないます。

ホーム画面が表示されたら、フィルター交換の手順は完了です。

## ■ クラリスフィルターの使用期限

- クラリスフィルターの浄水能力には限りがあります。一定量に達すると交換時期をお知らせします。
- 浄化能力は水の硬度で変わります。よりミネラルなどを含む硬度の高い水をご使用の地域の場合、浄化可能な水量は少なくなります。

## ■ クラリスフィルターご利用可能日数の目安表

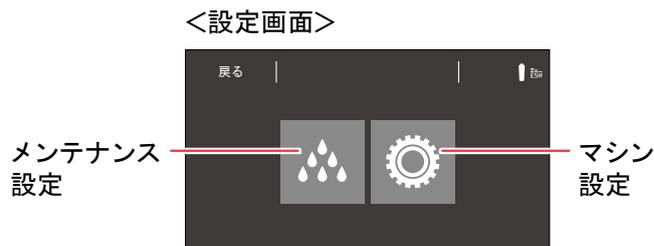
水の硬度	使用日数の目安
1 ~ 5°	66 日
6 ~ 10°	60 日
11 ~ 15°	54 日
16 ~ 20°	51 日
21 ~ 25°	45 日
26 ~ 30°	39 日

● 1 杯の標準量を 100ml、1 日の抽出数を 2 杯とした場合の目安です。

※ あくまでも目安であり、その数値を保証するものではありません。

# 設定

ホーム画面が表示された状態でロータリースイッチを押すと、設定画面が表示されます。



## メンテナンス設定画面

ミルクシステム クリーニング	ミルク経路のお手入れをします。 1日の終わりにおこなってください。 (23 ページ参照)
マシン洗淨	マシンの内部を洗淨します。 本メニューを使用しなくとも、目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回おこなわれると、設定画面に「マシン洗淨」と表示されてマシン洗淨が促されます。設定画面に「マシン洗淨」と表示される前に実施する場合、本メニューをご使用ください。(27 ページ参照)
フィルター交換	赤のラインでフィルターの交換時期を示します。フィルター交換時期がきたら、設定画面に「フィルター交換」と表示されます。(29 ページ参照)
CA 除去	水垢の除去が必要な場合、CA 除去マークが画面に表示されます。その際に操作が必要になるメニューです。この表示がされたら、弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
ロック ディスプレイ	ロゴが表示された状態でタッチパネルをロックします。 ロータリースイッチを押すとロックが解除されます。 ディスプレイを清掃する際に使用する機能です。
リンス	コーヒー・ミルク抽出口をすすぎます。(22 ページ参照)
メンテナンス情報	おすすめメンテナンス情報を表示します。

## マシン設定画面

メニュー名	ホーム画面に表示するメニューアイコンのメニュー名表示／非表示を設定します。 ※「○」が表示、「 」が非表示の状態です。(初期値：非表示)
スタート画面の数	ホーム画面のページ数を設定します。 [1 ~ 4] (初期値：2)
表示メニュー数	ホーム画面の 1 ページ目に表示するメニューの数を設定します。 [2 メニュー・5 メニュー・自動] (初期値：5 メニュー)
Wi-Fi 接続	本製品に装備されている JURA Wi-Fi コネクトを設定します。 ※ 携帯端末に JURA アプリ (J.O.E. ®) をインストールする必要があります。 App Store (iOS) または Google Play ストア (Android) から検索してインストールしてください。
オフタイマー	一定時間操作をしないときに、マシンが自動的に電源オフになるまでの時間を設定します。 [15 分、30 分、1 ~ 9 時間 (1 時間ごと)] (初期値：30 分)
言語の選択	マシンで表示する言語を設定します。
初期設定に戻す	本機を工場出荷時の設定にリセットします。
水の硬度	水の硬度を設定します。
単位表記	水量の単位 (ml / oz) を設定します。
情報	ソフトウェアのバージョンを表示します。
アクセサリ	本機と JURA アクセサリ機器のワイヤレス接続を設定します。
表示設定	画面の明るさを設定します。
システムを空に	本体内部の水を抜きます。
合計抽出杯数	使用回数を表示します。
お手入れ回数	メンテナンス回数を表示します。

## メニューの詳細設定

ホーム画面で各メニューアイコンを約 2 秒間長押しすると、そのメニューの詳細設定画面が表示されます。

設定後、「保存」をタッチすると、設定が保存されます。

※ ロータリースイッチメニュー画面の場合、メニューアイコンを長押ししてもメニューの詳細設定画面は表示されません。

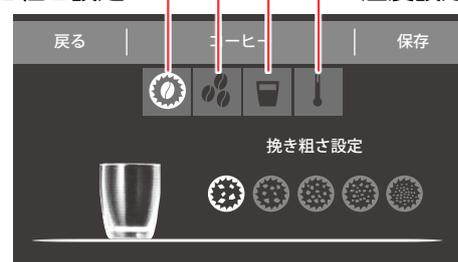


### ■メニュー設定

抽出濃度や容量、温度などを設定します。

設定可能項目は、32 ページ「メニュー設定可能項目」をご参照ください。

コーヒーの濃度設定  
挽き粗さ設定  
容量設定  
温度設定



### ■メニュー名

メニュー名前を設定します。

画面タッチまたはロータリースイッチでメニュー名を入力できます。

※ 日本語は使用できません。

※ 削除キーでメニュー名をすべて削除すると、メニュー名は初期値に戻ります。

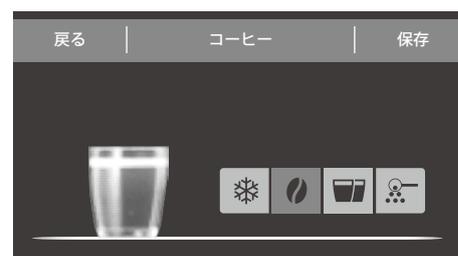
削除キー  
大文字・小文字を切り替えます。  
キーボードを切り替えます。



### ■プレセクション設定

各メニューの「抽出設定」をあらかじめ選択されている状態にします。

抽出設定メニューで変更できる設定については 19 ページを参照してください。



### ■位置変更

ホーム画面のメニューの位置を変更します。

画面をタッチするか、ロータリースイッチを回して、位置を入れ替えるメニューを選択します。

「現在のメニューを変えますか」と表示されたら、「[はい]」をタッチしてください。

<ホーム画面の空欄の場所にメニューを移動したい場合>

空欄の場所を長押しして、詳細設定画面を表示させた後、「位置変更」を選択して、空欄に移動させたいメニューを選択してください。



# 設定 (続き)

## メニュー設定可能項目

● ( ) の数値は初期値です。

メニュー名	挽き粗さ設定	コーヒーの濃度	容量* <sup>1</sup>	追加湯量* <sup>2</sup>	ミルク* <sup>3</sup>
エスプレッソ	5 段階 (4)	10 段階 (8)	15 ~ 80ml (45ml)	—	—
コーヒー	5 段階 (2)	10 段階 (5)	25 ~ 240ml (100ml)	—	—
アメリカーノ	5 段階 (2)	10 段階 (7)	25 ~ 240ml (70ml)	0 ~ 240ml (50ml)	—
アメリカーノL	5 段階 (2)	10 段階 (7)	25 ~ 240ml (120ml)	0 ~ 240ml (100ml)	—
カプチーノ	5 段階 (2)	10 段階 (8)	25 ~ 240ml (60ml)	—	—
ラテマキアート	5 段階 (2)	10 段階 (8)	25 ~ 240ml (45ml)	—	0 ~ 45 秒 (4 秒)
マキアート	5 段階 (4)	10 段階 (8)	15 ~ 80ml (25ml)	—	—
コルタード	5 段階 (4)	10 段階 (8)	15 ~ 80ml (25ml)	—	0 ~ 45 秒 (2 秒)
フラットホワイト	5 段階 (2)	10 段階 (5)	25 ~ 240ml (60ml)	—	0 ~ 45 秒 (14 秒)
カフェラテ	5 段階 (2)	10 段階 (5)	25 ~ 240ml (90ml)	—	0 ~ 45 秒 (7 秒)
ミルク	—	—	—	—	0 ~ 45 秒 (20 秒)
ミルクフォーム	—	—	—	—	0 ~ 45 秒 (0 秒)
エスプレッソドoppio	5 段階 (4)	10 段階 (8)	30 ~ 160ml (90ml)	—	—
ポットコーヒー	5 段階 (2)	10 段階 (5)	25 ~ 240ml (70ml)	0 ~ 240ml (50ml)	—
熱湯	—	—	25 ~ 300ml (220ml)	—	—
熱湯(お茶用)	—	—	25 ~ 300ml (220ml)	—	—

※ 1 コーヒー抽出湯量

※ 2 コーヒーに追加する熱湯の量

※ 3 スチームミルクを抽出する秒数

※ 4 ミルクフォームを抽出する秒数

※ 5 ミルクを注入してからコーヒーを抽出するまでの時間

※ 6 コーヒーの抽出分割数

※ 7 コーヒーの湯温

※ この表は左ページと続いています。

ミルクフォーム <sup>※4</sup>	ポーズ <sup>※5</sup>	ストローク <sup>※6</sup>	温度 <sup>※7</sup>	ミルク 温度	ミルクフォーム温度
—	—	—	低/中/高 (高)	—	—
—	—	—	低/中/高 (中)	—	—
—	—	—	低/中/高 (中)	—	—
—	—	—	低/中/高 (中)	—	—
0～45秒 (14秒)	—	—	低/中/高 (中)	—	10段階 (5)
0～45秒 (22秒)	0～60秒 (20秒)	—	低/中/高 (高)	10段階 (4)	10段階 (6)
0～45秒 (3秒)	—	—	低/中/高 (高)	—	10段階 (5)
0～45秒 (1秒)	—	—	低/中/高 (高)	10段階 (5)	10段階 (5)
0～45秒 (2秒)	—	—	低/中/高 (中)	10段階 (5)	10段階 (5)
0～45秒 (3秒)	—	—	低/中/高 (中)	10段階 (5)	10段階 (5)
0～45秒 (0秒)	—	—	—	10段階 (5)	10段階 (5)
0～45秒 (10秒)	—	—	—	10段階 (5)	10段階 (5)
—	—	—	低/中/高 (高)	—	—
—	—	1～5 (3)	低/中/高 (中)	—	—
—	—	—	低/中/高 (中)	—	—
—	—	—	低/中/高 (低)	—	—

# アラーム表示

画面表示	原因	対処方法
水タンクに水を入れてください。	給水タンクが空になっている。	給水タンクに水を入れてください。
	給水タンクが正しくセットされていない。	給水タンクを正しくセットしてください。
	給水タンクが浮いている。	給水タンクをセットし直してください。
排水トレイを挿入してください。	トレイユニットが正しくセットされていない。	トレイユニットを正しくセットしてください。
豆容器に豆を入れてください。	ホッパーに豆が入っていない。	コーヒー豆を入れてください。 ※ 豆が入っていてもこの表示が出る場合は、異物が入っていないかを確認して、ホッパー内部を攪拌してください。
コーヒー粉が足りません	コーヒー粉が不足している。	コーヒー粉を入れてください。
抽出ノズルがありません	抽出口カバーが開いている。	抽出口カバーを閉めてください。
ミルクシステムクリーニング	ミルク抽出経路のお手入れが必要。	ミルク経路のお手入れをおこなってください。 (23 ページ参照)
フィルター交換	クラリススマートプラスフィルターの交換が必要。	クラリススマートプラスフィルターを交換してください。 (29 ページ参照)
マシン洗浄	マシンの洗浄が必要。	マシンを洗浄してください。 (27 ページ参照)
CA 除去 <sup>*1</sup>	水垢（スケール）除去が必要。	弊社より販売している別売りスケール除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法はスケール除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
適温に下がるまでお待ち下さい	マシンのオーバーヒート。	電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜き、数分間マシンを冷ましてから再度電源をオンにしてください。
排水トレイを空にしてください	排水トレイが満杯になっている。	排水トレイとかす受け容器を空にしてください。 (21 ページ参照) ※ 排水トレイを空にしてもこの表示が消えない場合は、引き出しトレイの金属部分をきれいに洗った後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
カス容器を空にしてください	かす受け容器が満杯になっている。	排水トレイとかす受け容器を空にしてください。 トレイユニットは、取り出してからセットするまで 10 秒以上間をおいてください（カウンターをリセットさせるため）。 (21 ページ参照)

※ 1 フィルターを取り付けずに使用を続けたり、フィルターを交換せずにマシンを使用し続けた場合にアラームが出ます。

上記以外のアラームが表示された場合は、弊社コールセンターへお問い合わせください。

# こんなときは

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない/ タッチパネルの表示が出ない。	コンセントから電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	3℃以下の寒い場所に保管していた。	本体を 10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。
	保護シートをはがしていない。	保護シートをはがしてください。 (6 ページ参照)
コーヒーの出が悪い。 コーヒーが出ない。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎて、流れが悪くなっている。	挽き粗さ設定で、粗めに設定してください。 (31 ページ参照)
	フィルターの目が詰まっている。	フィルターを外した状態でコーヒーが出る場合は、フィルターを交換してください。 (29 ページ参照)
豆がうまく挽けない。 コーヒーが薄くなった。	ホッパー内に異物が入っている。	異物を取り除いてください。
	挽き目が細かすぎる。	挽き粗さ設定で、粗めに設定してください。 (31 ページ参照)
	豆が湿っている。	新鮮な豆に交換してください。
ミルクフォームの泡立ちが悪い。 または、泡立たない。	フォームフローサーが汚れている。	フォームフローサーの分解清掃をしてください。 (25 ページ参照)
ミルクやカフェラテがぬるい。	フォームフローサーの部品の汚れ	フォームフローサーの分解清掃をしてください。 (25 ページ参照) ※ 汚れが落ちにくい場合はミルクシステムクリーナーを使用してクリーニング。 (25 ページ参照)
ミルクを吸わない。	フォームフローサーを間違った方法で組み立てている。	フォームフローサーを組み立て直してください。 (25 ページ参照)
	ミルクチューブが折れているか、曲がっている。	ミルクチューブの折れや曲がり直してください。
排水トレイの水を捨てても「排水トレイを空にしてください」と表示される。	引き出しトレイの金属部分が汚れているか、濡れている。	中性洗剤を使用して、排水が溜まる面を洗浄してください。 金属部分をきれいに洗った後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
トレイユニットが本体に入らない。	洗浄中やすすぎ中など、本体の動作中にトレイユニットを抜いてしまったため、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① かす受け容器を入れない状態で、トレイユニットを本体にセットし、電源をオフにします。 ② 2～3 分してから電源をオンにします。 ③ トレイユニットを抜き、かす受け容器を入れたあと、再度トレイユニットをセットします。
トレイユニットがひっかかって取り出せない。	本体の動作中にトレイユニットを引き出そうとして、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① トレイユニットを元の位置に挿入し、電源をオフにします。 ② 2～3 分してから電源をオンにします。

## こんなときは (続き)

こんなとき	原因	対処方法
かす受け容器が満杯ではないのに「カス容器を空にしてください」と表示される。	電源オフの状態でもコーヒーかすを捨てた。 または、コーヒーかすを捨てる時にトレイユニットを取り出してからセットするまで 10 秒以内でおこなった。	電源オンの状態でトレイユニットを外し、コーヒーかすを捨て、再度セットしてください。 またトレイユニットは、取り出してからセットするまで 10 秒以上間をおいてください (カウンターをリセットさせるため)。 (21 ページ参照)
電源を入れてからある程度時間が経つと電源がオフになる。	オフまでの時間設定が働いた。 (一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります)	再度使用するときは、電源スイッチを押して電源を入れてください。 オフになるまでの時間は設定することができます。 (30 ページ参照)
「ERROR 2」または「ERROR 5」と表示される。	気温が低い。	電源プラグをコンセントから抜き、10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。 症状が改善しないときは、弊社コールセンターへご連絡ください。 室温が 0℃以下になる場合は凍結しますので、必ず水抜きをおこなってください。 (38 ページ参照)
その他のエラー表示	—	弊社コールセンターへご連絡ください。

# 消耗品

## ご購入が可能な消耗品

部品の購入は、コーヒーマシンを購入した販売店または弊社コールセンターにご連絡ください。

また、一部の消耗品は、弊社ウェブサイトから購入できます。

<https://www.brewmatic.co.jp/JURA/online/>

部品名称		
給水タンク	給湯ノズル	ミルククリーニング容器
ホッパーふた	フォームフローサー	
かす受け容器	フローサー抽出口先端 (10 個入り)	
カップ受け	ミルクシステムクリーナー	
クラリススマートプラスフィルター	ミルクチューブ	
JURA クリーニングタブレット (6 錠)	チューブジョイント	

## お客様自身で交換ができない消耗品

以下の部品はお客様自身で交換できません。弊社コールセンターにご相談ください。

部品名称	
グラインダー	抽出ユニット
抽出用ノズル	バイブレーションポンプ
各種 O リング、ガスケット	サーモブロック
抽出ユニットピストンフィルター	

# 水抜きの方法

マシンを長期間使用しない場合や冬季をまたいで保管する場合、または運搬する場合は、以下の手順で本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。

- ① ミルクチューブを抽出口から外します。
- ② 抽出口・給湯口の下に容器を置きます。
- ③ ホーム画面の状態ですべてのスイッチを押します。
- ④ 設定画面で [マシン設定] をタッチして選択します。
- ⑤ マシン設定画面で [システムを空に] をタッチして選択します。
- ⑥ 給水タンクを外し、空にします。  
→ 内部に残っている水がなくなるまで抽出口・給湯口から蒸気が出ます。
- ⑦ 電源がオフになります。

# 保管方法

- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。  
(保管環境温度 4 ~ 60°C)
- 長期間使用しないときや冬季をまたいで保管する場合は、本体内部のコーヒー豆と水を抜き、購入時に入っていた箱に入れて保管してください。(38 ページ参照)

# 廃棄について

製品や使用済のフィルターを廃棄するときは、お住いの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

# アフターサービスについて

別紙の「保証とアフターサービスについて」と「保証書」をご覧ください。

# 仕様

寸法	幅 320mm × 奥行 470mm × 高さ 360mm
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200W
給水タンク容量	約 2.4L (フィルターケース装着時)
ホッパー容量	約 280 g
コーヒーかす受け容器の容量	最大 20 杯分 ※選択したコーヒー粉量により変わります。
質量	約 13 kg
コードの長さ	約 1.1m
保管環境温度	4 ~ 60℃
使用環境温度	10 ~ 35℃

※本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています。

Made in Portugal

## 商標について

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Google Play、Android は、Google LLC の商標です。

**輸入／販売元**

**ブルーマチックジャパン株式会社**

<http://www.brewmatic.co.jp>

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

福岡営業所：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24



©2023 ブルーマチックジャパン株式会社

29062023